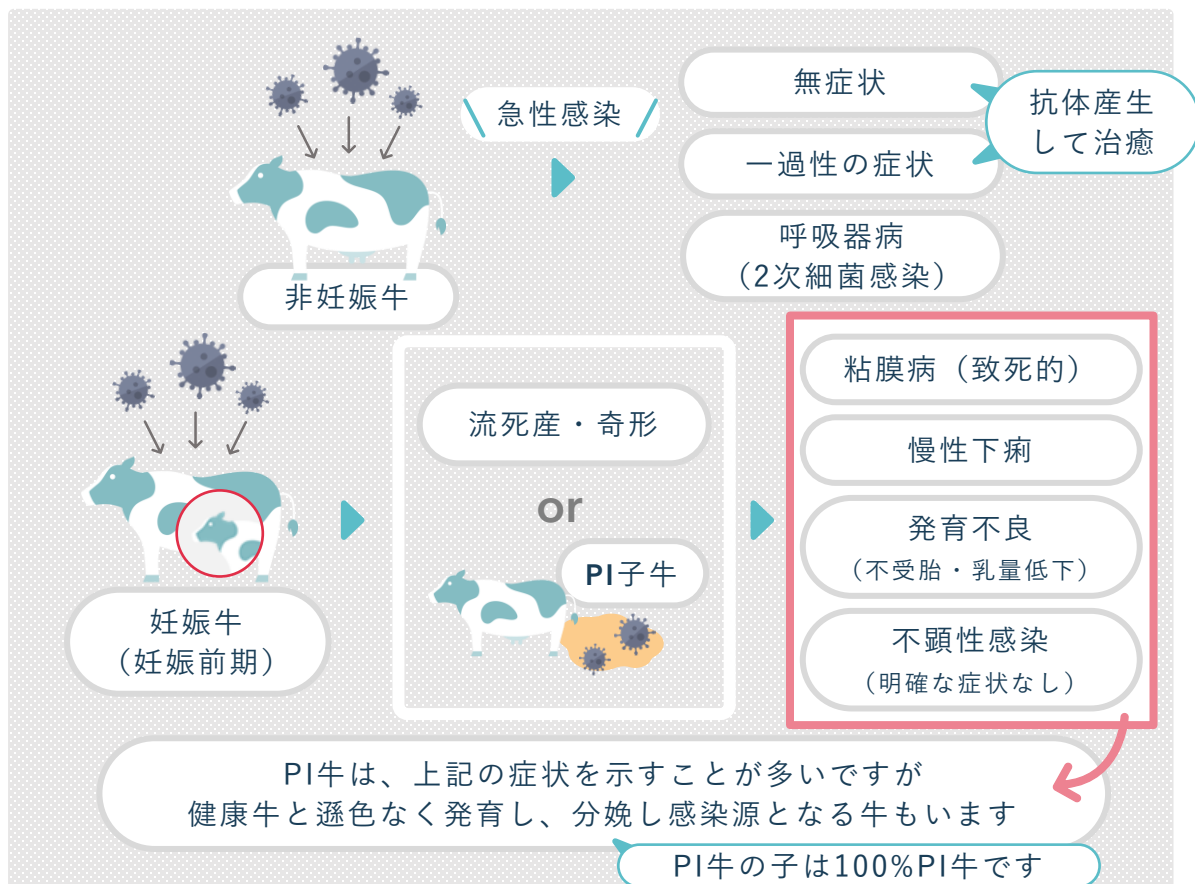


牛ウイルス性下痢（BVD）は、

牛・水牛の届出伝染病です。通常の感染では、軽度の発熱や下痢などの軽度の症状を示しますが、妊娠牛に感染した場合、**流死産や奇形子牛の分娩**を起こします。また感染時期により**生まれてくる子牛が持続感染（PI）牛**になります。PI牛は生涯多くのウイルスを排泄し続け、農場を汚染する原因となります。



検査について

牛を**導入する際は、検査**を受けましょう。検査結果が出るまでは**隔離飼育**し、農場に病気を蔓延させないようにしましょう。また乳牛では年2回バルク乳でBVD検査を実施しております。

検査結果が出るまで時間がかかります。余裕をもってご相談ください。

検査項目（方法）	手数料	検体
ウイルス検査（ELISA）	840円	血清
遺伝子検査（PCR）	1,600円	

ワクチンについて

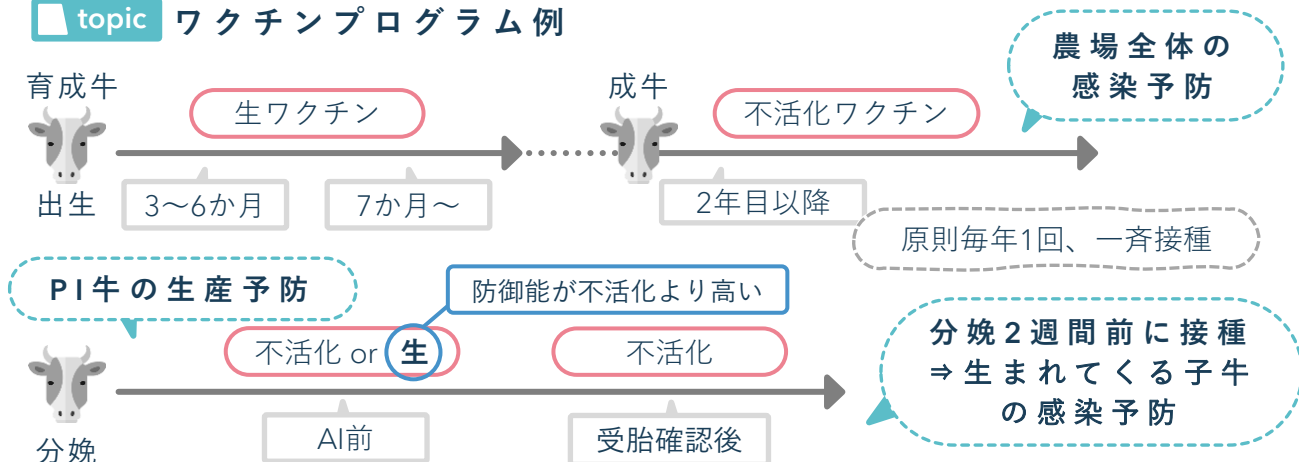
衛生指導協会が、下表のBVDワクチンを取り扱っております。詳しくはお問い合わせください。

種類
牛ウイルス呼吸器病5種混合（BVDV不）（ポビバックB5）
牛ウイルス呼吸器病5種混合（BVDV生）
牛ウイルス呼吸器病6種混合（BVDV不）（キャトルウィン6）
牛ウイルス呼吸器病6種混合（BVDV生）（カーフウィン6）

PI牛にワクチンは無効です

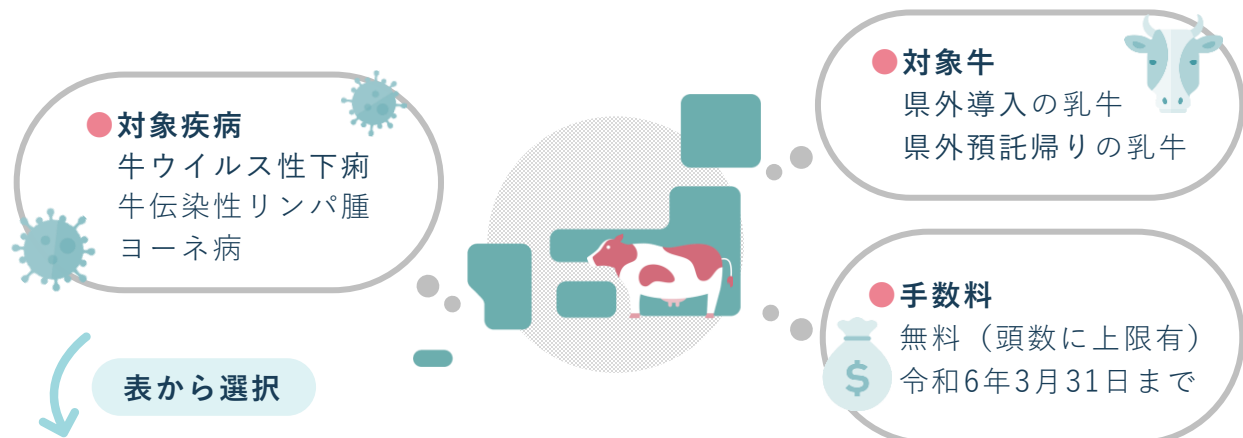
生ワクチンは妊娠牛には使用できません

topic ワクチンプログラム例



事業について

令和6年3月まで酪農生産性向上対策事業により、**県外導入牛**のBVD等の検査を**検査手数料無料**（上限有）で実施します。伝染病侵入防止のため積極的に活用ください。



表から選択

検査項目	検査方法
牛ウイルス性下痢	PCR、ELISA（抗原・抗体）
牛伝染性リンパ腫	PCR、ELISA（抗体）
ヨーネ病	スクリーニングPCR ELISA（抗体）

申込書ダウンロード



又は家保へお電話ください